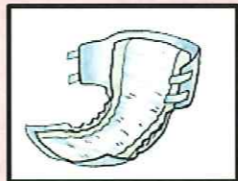


まめ知識

このコーナーでは、介護に役立つちょっとした知識をお伝えします。
 今回のテーマは・・・【オムツの当て方のポイント】
 ※主にテープ止めタイプのオムツについて説明します。

- ①介助が必要な方（以下要介護者）の**体格に合ったサイズ**のものを使用する。
 ⇒サイズが大きすぎると尿がオムツから漏れてしまいます。
- ②オムツを当てる際は、オムツが**要介護者の身体の中心**にくるようにする。
- ③オムツについている**ギャザーをしっかりとたてる**。
 ⇒②、③いずれもオムツから尿が漏れることを防ぐうえで大切です。
- ④**太ももの付け根の内側（上半身側）**へオムツをそわせる。
 ⇒**要介護者の足の動きの妨げを減らせます**。また、テープ止めタイプの場合、腰の上までテープ止めタイプのオムツがかぶるようになると当て心地がよくなります。
- ⑤テープ止めの場合、上側のテープを斜め下向きにする。
 ⇒**要介護者のお腹の圧迫を防げます**。



テープ止めタイプのオムツ



その他の工夫としては、尿取りパッドを使用する際は要介護者の排尿量や排尿量の多い時間などに応じて、尿取りパッドのサイズを選ぶといいです。**オムツはそのサイズによって、尿吸収量が決まっています**。
 また、ズボンやゆとりのある大きさのものを使用するなど、**着脱のしやすい衣類**を選ぶことも大切です。ご自分でトイレに行かれる場合や、オムツ交換の介助を行う方にとって負担が少なくなります。

（詳しくは、オムツのメーカー毎に説明書があると思いますので説明書にしたがってください。）

お知らせ 新型コロナウイルス感染症対策の為、残念ながら今年度も『みのりの丘まつり』は中止となりました。また、代わりにご利用者の皆様より楽しんで頂けるよう施設内で出来る感染症に配慮した行事を予定しています。何卒ご了承下さい。みのりの丘行事委員会

ワクチン接種終了しました

新型コロナウイルスのワクチン接種につきまして、施設での接種を希望されたご利用者及び職員全員2回の接種が終了いたしましたのでお知らせいたします。尚、引き続き、感染症対策に取り組んでまいります。



寄贈物品・寄付

ご家族の皆様及び地域の皆様より、みのりの丘中郷へ寄贈品をいただきました。誠にありがとうございました。
吉田 富男様 山崎 樹一様
丸山 貞幸様 連合上越頸南支部様（順不同）
 【令和3年4月～令和3年6月末日】
 ※寄贈品の内容については省略させていただきます。ご了承ください。

編集後記

今回の広報誌では、主に昨年度の事業報告を掲載しています。感染症対策をしつつもご利用者の皆様に楽しんで頂けるよう行事等取り組みました。今年度も皆様に楽しみを提供できるよう努めていきたいと思っております。

苦情申し立て 期間中、苦情の申し立てはありませんでした。今後もサービス向上に努めてまいります。遠慮なくご意見をお寄せください。

★掲載している写真は、ご本人又はご家族の了承をいただいております。ご厚意に感謝申し上げます。
 ★インターネットブログにて、みのりの丘の日々の様子を公開しております。ぜひ、ご覧ください。

みのりの丘 第22号

令和3年7月15日
発行



みのりの丘の最近の様子です。今夏も皆様元気に過ごされています。



令和2年度 事業報告

今号は、昨年度の事業報告です。昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策の為多くの全体行事が中止となってしまいました。地域の皆様とはお会いできない事も多かったですが、その中でもご利用者より楽しんで頂けるよう感染症に配慮した活動を行いました。

◆事業所毎の活動内容については、中の見開きをご覧ください◆



防災訓練の様子



無料屋台の実施



秋のエコウォーク



感染症対策の取り組み

社会福祉法人 新井頸南福祉会

◇地域密着型介護老人福祉施設 みのりの丘中郷◇ ◇グループホームあすなる◇
 ◇小規模多機能型居宅介護事業所 ほのぼの中郷◇ ◇えんじゅの郷デイサービスセンター◇
 〒949-2302 新潟県上越市中郷区藤沢998番地1
 TEL 0255-74-2525 FAX 0255-74-2533



新井頸南福祉会HPのQRコードです！

みのりの丘中郷

部署目標

1. ユニットケアの利点を生かしたご利用者本位のサービスを提供します。
2. 高い平均介護度に対応できる介護を提供します。
3. 口腔ケアなどを通して嚥下機能の維持を図ります。

●地元中郷にある協力歯科医院と連携し口腔ケアの充実に取り組み、口腔機能の維持や誤嚥性肺炎の予防に努めました。結果、誤嚥性肺炎での入院はありませんでした。

●認知症高齢者への対応力を強化するため、年2回の研修に取り組みました。



●昨年度は、感染症対策で外出ができなかった為、ユニットの設え（飾り）作りをいれ季節感の演出を行いました。ご利用者にも手伝って頂きました。また、ユニット行事としてお菓子を提供したお茶会なども行いご利用者の皆様より喜んで頂きました。

●その他、ご利用者本位の介護サービス提供に関する研修や、看取りケア研修の実施、ご利用者・ご家族へのアンケート調査の実施、ご利用者それぞれに合わせたケアへの見直しなどを行いました。



←これは今年度の様子ですが昨年度も同様に取り組みました。



あすなろ

部署目標

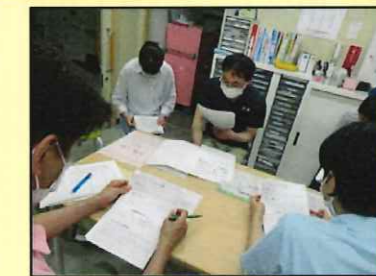
1. ご利用者の多様なニーズに対応できるように、ご家族とのつながりを大切にします。
2. 認知症高齢者への対応力を強化するため、認知症ケアに関する研修を計画的に行い確かな技術と知識を身につけます。

●コロナ禍で面会ができないため、手紙・フォトムービーを送付し、ご家族に見て頂くことで日頃の様子を感じて頂き、つながりを大切にできるよう取り組みました。

●こもれび：「一人ひとりが穏やかに過ごせる環境作り」を目標に、心に寄り添い、共同生活の中でも一人の時間を大切にしてくれるケアを行いました。

●ひだまり：「一人ひとりが『居心地がいい』と思えるような暮らしの実現」を目標に、お一人おひとりに笑顔が溢れる環境作りを大切に寄り添うよう取り組みました。

●認知症高齢者の視点や立場を理解しながらサービス提供できるように、「接遇」、「脳活性リハビリテーション」などの認知症研修を年6回行いました。



ほのほの中郷

部署目標

1. 地域ニーズの高い宿泊機能を最大限活用した事業運営を積極的にアピールします。
2. 訪問機能や通いの短時間利用を活用した柔軟なサービスを提供します。
3. ご利用者の在宅生活が維持・継続できるように、地域資源をつなぎ調整する取り組みを行います。

●柔軟なサービス提供の実践

可能な限り在宅生活を継続できるよう、小規模多機能型居宅介護の特性を活かして、ご利用者一人ひとりの生活スタイルに合わせた柔軟なサービス提供を実践することができました。

例えば、通いは「お風呂だけ入ったら帰りたい」、泊りは「夕方から利用したい」、訪問は「急な外出支援も対応してほしい」など様々な希望に対応することができました。



●介護技術・認知症ケアの向上

ご利用者個々に抱える課題に対して、適切なケアを実践できるよう事例検討を踏まえた研修を計画的に行いました。

研修で得た知識・技術は、在宅介護を支えるご家族へのアドバイスにも活かすことができました。



えんじゅの郷

部署目標

1. ご利用者の心身機能の維持向上を目指し「今よりもっと・・・来れば来るほど元気になるデイサービス」を目標に、機能訓練や余暇活動を提供します。
2. 安心して安全な、ご利用者満足度の高いサービス提供に取り組みます。



●コロナ禍で運動不足による身体機能低下を予防するため、生活動作と心身機能の維持向上を目指し、身体を動かす活動に力を入れて取り組みました。「今よりもできるようになりたい・・・今できることを続けたい・・・」という思いを実現し、自宅での生活が継続できるように取り組みました。また、楽しみある日常が送れるように、余暇活動の中に運動を取り入れて、ご利用者に満足して頂けるよう活動を行いました。

●近年多く発生している、自然災害における防災力の向上と日常的な訓練を通して、安全にご利用して頂ける環境作りに取り組みました。在宅生活の中で「自分でもできること」の確認を行いました。感染症対策を講じつつの防災訓練や日々の感染症対応を徹底することで、安全で安心なサービス提供に繋げることができました。

